

2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2023年11月10日

上場会社名 東洋合成工業株式会社 上場取引所 東
コード番号 4970 URL <http://www.toyogosei.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 有仁
問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長 (氏名) 篠崎 史朗 (TEL) 03-5822-6170
四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 2023年12月8日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	15,055	△14.2	1,297	△54.5	1,354	△58.7	917	△59.2
2023年3月期第2四半期	17,553	11.7	2,852	20.4	3,278	38.9	2,247	38.3
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2024年3月期第2四半期	115.54		—					
2023年3月期第2四半期	283.22		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	53,306	20,450	38.4
2023年3月期	51,105	19,641	38.4

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 20,450百万円 2023年3月期 19,641百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2024年3月期	—	20.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,000	△9.2	2,600	△47.7	2,500	△51.2	1,600	△58.2	201.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2024年3月期2Q	8,143,390株	2023年3月期	8,143,390株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2024年3月期2Q	206,528株	2023年3月期	206,467株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2024年3月期2Q	7,936,888株	2023年3月期2Q	7,936,923株
------------	------------	------------	------------

発行済株式数に関する注記

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください

(金額の表示単位の変更について)

当社の四半期財務諸表に表示される科目その他の事項の金額は、従来、千円単位で記載しておりましたが、第1四半期会計期間及び第1四半期累計期間より百万円単位で記載することに変更いたしました。なお、比較を容易にするため、前事業年度及び前第2四半期累計期間についても百万円単位で表示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(収益認識関係)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期における海外経済は、高い物価上昇率の継続や各国の政策金利の高止まり等により景気後退が続きました。米国では高い物価上昇率にもかかわらず、良好な雇用環境を背景に個人消費が継続する一方、欧州では、ウクライナ情勢の長期化を背景に原材料価格の高騰と高い物価上昇率により、個人消費の低迷等から緩やかな景気後退となりました。また、中国では、半導体を中心とした米中対立の影響等による外需の低迷、不動産市場の低迷とコロナ禍からのリバウンド需要の一巡から個人消費も軟調となり、景気は停滞しました。その結果、世界主要地域の製造業関連指標も低迷し、世界経済の成長下振れリスクの高い状況が続いております。

わが国経済は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行されたことにより、個人消費やインバウンドなどのサービス需要が拡大し、景気は緩やかな回復が続きました。しかしながら、エネルギー・原材料価格の高騰、海外経済の下振れ等、依然として景気後退リスクの高い状態が続いております。

当社事業の主要市場である電子材料業界は、一部製品では在庫調整に解消の兆しが見られたものの、半導体材料においてはコロナ禍のグローバルサプライチェーンの混乱により積み上げられた過剰在庫の適正化に向けた動きが続き、需要が減退しました。

このような状況のもと、半導体需要の低迷やサプライチェーン上の更なる在庫調整などの影響を受け、当第2四半期における売上高は15,055百万円（前年同期比△2,498百万円、△14.2%）と減少しました。利益面につきましては、継続的な生産性改善や販売量減少に対応したコスト削減活動などに取り組んだものの、売上高減少により営業利益は1,297百万円（前年同期比△1,555百万円、△54.5%）、経常利益は1,354百万円（前年同期比△1,924百万円、△58.7%）、四半期純利益は917百万円（前年同期比△1,330百万円、△59.2%）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(感光性材料事業)

半導体向け材料は、先端半導体向け材料も含め半導体市場全体の需要低迷が続き、サプライチェーン上の在庫調整により、当社の売上も減少しました。ディスプレイ向け材料は、中国を中心に大型液晶パネル生産は一定レベルを保ち、需要も維持されましたが、半導体向け材料の売上減少をすべて補うまでには至りませんでした。

この結果、同事業の売上高は9,298百万円（前年同期比△1,182百万円、△11.3%）、営業利益は797百万円（前年同期比△1,108百万円、△58.2%）となりました。

(化成品事業)

電子材料関連製品は、長期化しているサプライチェーン上の在庫調整に底打ちが見られたものの、中国の景気減速や世界的なインフレによるスマートフォンやPCなど、民生品向け需要低迷の影響を受け、前年同期比で売上は減少しました。

香料材料関連製品は、海外を中心に需要回復の兆しが出てきたものの国内需要が減少し、前年同期比では売上が減少しました。

ロジスティック関連は、サプライチェーン上の在庫調整や需要の弱さから荷動きの低迷が継続しているものの、旺盛なタンク需要によりタンク契約率は高水準で推移しました。

この結果、同事業の売上高は5,756百万円（前年同期比△1,315百万円、△18.6%）、営業利益は500百万円（前年同期比△446百万円、△47.1%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末における総資産は53,306百万円となり、前事業年度末比2,201百万円の増加となりました。

流動資産は21,286百万円で、前事業年度末比398百万円の減少となりました。これは受取手形及び売掛金446百万円の減少、原材料及び貯蔵品301百万円の減少などによるものであります。

固定資産は32,020百万円で、前事業年度末比2,600百万円の増加となりました。これは主に取得による増加3,983百万円、減価償却による減少1,443百万円によるものであります。

流動負債は18,590百万円で、前事業年度末比961百万円の減少となりました。これは主に支払手形及び買掛金1,984百万円の減少、1年内返済予定の長期借入金1,033百万円の増加によるものであります。

固定負債は14,265百万円で、前事業年度末比2,353百万円の増加となりました。これは主に、長期借入金2,237百万円の増加によるものであります。

純資産合計は20,450百万円で、前事業年度末比809百万円の増加となりました。これは主に四半期純利益917百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期の業績予想につきましては、2023年5月12日に公表いたしました業績予想から変更しております。詳細につきましては、本日(2023年11月10日)に公表いたしました「2024年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,252	3,614
受取手形及び売掛金	5,912	5,466
商品及び製品	8,351	8,230
仕掛品	347	280
原材料及び貯蔵品	3,060	2,759
その他	767	940
貸倒引当金	△6	△5
流動資産合計	21,685	21,286
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,833	10,827
機械装置及び運搬具(純額)	7,914	7,201
土地	4,912	4,912
建設仮勘定	3,244	6,087
その他(純額)	734	778
有形固定資産合計	27,639	29,807
無形固定資産		
その他	607	977
無形固定資産合計	607	977
投資その他の資産		
その他	1,172	1,236
投資その他の資産合計	1,172	1,236
固定資産合計	29,420	32,020
資産合計	51,105	53,306
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,943	2,959
短期借入金	5,100	5,000
1年内返済予定の長期借入金	3,481	4,515
設備関係未払金	3,713	3,523
未払法人税等	477	457
賞与引当金	792	788
その他の引当金	50	24
役員退職慰労引当金	1	—
その他	990	1,320
流動負債合計	19,551	18,590
固定負債		
長期借入金	9,312	11,549
退職給付引当金	1,888	1,980
役員退職慰労引当金	90	99
その他	620	636
固定負債合計	11,912	14,265
負債合計	31,463	32,856

(単位：百万円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,618	1,618
資本剰余金	1,541	1,541
利益剰余金	16,488	17,246
自己株式	△92	△92
株主資本合計	19,556	20,314
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	85	151
繰延ヘッジ損益	—	△15
評価・換算差額等合計	85	136
純資産合計	19,641	20,450
負債純資産合計	51,105	53,306

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	17,553	15,055
売上原価	12,597	11,728
売上総利益	4,956	3,326
販売費及び一般管理費	2,103	2,029
営業利益	2,852	1,297
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	4	5
為替差益	434	19
受取家賃	13	12
受取保険金	0	61
生命保険配当金	11	12
その他	22	7
営業外収益合計	486	117
営業外費用		
支払利息	52	54
その他	6	5
営業外費用合計	59	60
経常利益	3,278	1,354
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産除却損	36	18
特別損失合計	36	18
税引前四半期純利益	3,242	1,335
法人税、住民税及び事業税	899	409
法人税等調整額	94	9
法人税等合計	994	418
四半期純利益	2,247	917

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	3,242	1,335
減価償却費	1,374	1,443
引当金の増減額 (△は減少)	104	67
受取利息及び受取配当金	△4	△5
支払利息	52	54
固定資産除却損	36	18
有形固定資産売却損益 (△は益)	△0	-
受取保険金	-	△61
売上債権の増減額 (△は増加)	766	446
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,029	488
仕入債務の増減額 (△は減少)	△0	△1,981
未払又は未収消費税等の増減額	△19	△368
その他	△240	357
小計	3,283	1,796
利息及び配当金の受取額	4	5
利息の支払額	△55	△49
保険金の受取額	-	65
法人税等の支払額	△1,123	△481
その他	0	0
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,109	1,337
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,326	△3,647
有形固定資産の売却による収入	0	-
有形固定資産の除却による支出	△34	△25
無形固定資産の取得による支出	△36	△124
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,396	△3,798
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	900	△100
長期借入れによる収入	1,300	5,000
長期借入金の返済による支出	△1,782	△1,728
リース債務の返済による支出	△82	△99
自己株式の取得による支出	-	△0
配当金の支払額	△118	△158
財務活動によるキャッシュ・フロー	215	2,913
現金及び現金同等物に係る換算差額	123	△90
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	51	362
現金及び現金同等物の期首残高	3,269	3,252
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,320	3,614

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益 計算書計上額 (注)
	感光性材料事業	化成品事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	10,481	7,072	17,553	—	17,553
外部顧客への売上高	10,481	7,072	17,553	—	17,553
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	151	151	△151	—
計	10,481	7,223	17,705	△151	17,553
セグメント利益	1,905	946	2,852	—	2,852

(注) セグメント利益は四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な事項はありません。

当第2四半期累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益 計算書計上額 (注)
	感光性材料事業	化成品事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	9,298	5,756	15,055	—	15,055
外部顧客への売上高	9,298	5,756	15,055	—	15,055
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	159	159	△159	—
計	9,298	5,915	15,214	△159	15,055
セグメント利益	797	500	1,297	—	1,297

(注) セグメント利益は四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。